

令和6年度ごみゼロやまがた推進県民会議県民部会議事録

《日時》

令和7年2月25日（火）13時30分～14時30分

《場所》

山形県庁1201会議室（オンライン併用）

《出席委員》（委員名簿順）

吉田健志委員（副会長（部会長））、天野葉月委員（オンライン）、板垣裕子委員（代理：高橋英樹氏）、河合麻衣委員、笹原美百紀委員、高橋あゆみ委員、山崎和夫委員（オンライン）、山本幸子委員（オンライン） 8名

《県民部会》

1 開会

2 あいさつ（吉田部会長）

3 議事（座長：吉田部会長）

(1) 報告

① ごみゼロやまがた推進県民会議各委員の所属団体における活動状況等について

【各委員】（資料1により報告）

【事務局】（欠席委員報告分について、資料1により報告）

<質疑・意見等>

【吉田部会長】

天野委員から報告のあった、手回し発電機による実験について、参加者からどのような感想があったか。

【天野委員】

通常の電球よりLED電球の方が回す力が少なくて済むことを体験してもらう実験。参加者からは、LED電球の方が軽い、楽だと感じたとの感想があり、省エネについて体感いただけたものと思う。

(2) 協議

① 令和7年度「ごみゼロやまがた県民運動」（家庭編）展開方針（案）について

【事務局】（資料2により説明）

<質疑・意見等>

【高橋委員】

今年度の展開方針では、それぞれの項目で二次元コードがあったが、来年度は1つとなっている。減った理由は。

【事務局】

展開方針はチラシではないため、見やすくなるようそれぞれのページにアクセスできる県の廃棄物・リサイクル総合情報サイトにアクセスできる二次元コードのみとして、レイアウトを整理したもの。

【吉田部会長】

レイアウトが整理され見やすくなった。プラスチックごみの項目では内陸からのごみ8割との説明文によって改めて取組みの必要性を実感した。

【吉田部会長】

県民運動（家庭編）の展開方針案については、事務局案を来年度の総会へ提出することによいか。

【各委員】

異議なし（了承）

② 令和7年度「ごみゼロやまがた県民運動」の活動内容（案）について

【事務局】（資料3により説明）

<質疑・意見等>

【河合委員】

「マイボトルの普及啓発」について、県庁舎に設置しているマイボトル給水器は職員の利用が多く、一般の方の利用は来庁者くらいと感じる。県総合運動公園などの一般の利用者の多い施設への給水器設置拡大の予定はあるか。

【事務局】

各施設の管理担当部署への働きかけを行っており、現在3施設での設置となっている。各施設におけるスペースや予算の都合もあるが、引き続き働きかけをおこなっていききたい。

また、マイボトル給水器に限らず、民間施設を含む県内の給水スポットの紹介の取組みなども考えていきたい。

【吉田部会長】

「ごみゼロやまがた県民運動キャンペーン」について、実施する大型商業施設4施設は決まっているのか。また、「ごみゼロやまがた県民運動」について、テレビなどのメディアを活用した周知は考えているか。

【事務局】

「ごみゼロやまがた県民運動キャンペーン」について、今年度は、村山地域はイオンスタイル天童、最上地域はマックスバリュ新庄店、置賜地域はイオン米沢店、庄内地域はイオン三川店で実施した。例年、各地域の大型商業施設で実施しており、来年度も同様に実施したいと考えている。

「ごみゼロやまがた県民運動」の周知について、今年度、県政テレビ「やまがたサンデー5」で「もったいない山形協力店」、「マイボトルの普及啓発」について紹介したほか、ラジオから「マイボトル普及啓発」の取材があった。引き続き、メディアを活用した周知にも取り組んでいきたい。

【吉田部会長】

承知した。様々な方法での周知をお願いしたい。

【吉田部会長】

ごみゼロやまがた県民運動の活動内容（案）については、事務局案を来年度の総会へ提出することでよいか。

【各委員】

異議なし（了承）

(3) その他

【事務局】 展開方針について、各団体におけるより一層の周知をお願いする。

4 その他

【事務局】 来年度のごみゼロやまがた推進県民会議に関するスケジュールについて説明

5 閉会